

生活

旬のさかな 眼張
「春告げ魚」と呼ばれ、目が丸く飛び出しそとに大きい
ため、この名がつけました。
この時季は脂がのり、とろける
ようなうまみがあります。

くらしのこよみ
うつくしいくらしかた研究所

◎ 東京新聞

● 胃腸の病気

高齢者の食欲不振には、いろいろな原因が考えられます。比較的多いのが、肺炎や尿路感染症で熱がある場合。糖尿病などの慢性疾患の悪化や薬剤の影響、また、認知症、うつ傾向、あるいは老衰の



Dr.松井英男の 在宅医療のカルテ

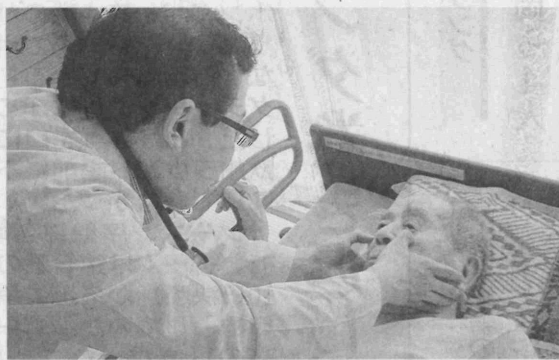
状態で食べる気力自体がなくなっ
てしまっていることもあります。
もちろん、胃腸など、消化器の病
気が隠れていることもあります。

九十代のMさんは、脳梗塞の後
遺症や心臓弁膜症のため、低用量
アスピリンによる内服治療を受け
ていました。初診から二年ほどは
比較的元気でしたが、肺炎で一
入院してから食事も少なくなり、
加齢の影響かとも考えました。と
ころが、ある日突然大量の血を嘔
吐し、救急搬送されることに。

検査の結果は、急性の出血性胃
潰瘍で、内服中のアスピリンが原

服用薬管理も重要

因と考えられました。幸い、内視
鏡を使った止血処置や点滴治療に
より病状は改善し、再び食事がで



貧血の程度を診察する

きるようになりました。

脳血管や心臓疾患の治療用に、
血液の流れを良くするのがアスピ

リンなどの薬ですが、これが原因
で胃潰瘍などを起こす確率は、最
近の国内の調査で6・5%とい
います。当院の調査では、最近一
年で低用量アスピリンの治療を受
けている十人のうち、急性の胃潰
瘍を発症したのは一人でした。潰
瘍予防のため、胃酸分泌を抑える
薬を飲むことも多いのですが、内
服薬が増えてしまいます。また、
最近になり、アスピリンは胃や十
二指腸だけでなく、小腸や大腸の
粘膜にも影響を与えることも分か
っており、貧血の進行などにも注
意を払う必要があるでしょう。

ある疾患のための服用薬が、他
の疾患の引き金になることがあり
ます。特に多くの薬が処方されて
いる高齢者は、一元的な管理が重
要です。(川崎高津診療所院長)

次回回は五月五日掲載